

STAR

自走ロールベアラ

取扱説明書

製品コード K93097
型 式 JRB0800K
部品供給型式 JRB0800K-07

製品コード K93096
型 式 JRB0800M
部品供給型式 JRB0800M-07

製品コード K93098
型 式 JRB0800Y
部品供給型式 JRB0800Y-07

- 部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡下さい。
- 補用部品の一部には、まとめ・セット販売のみの部品があります。

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

SECRET

SECRET

SECRET

SECRET


C

C



安全に作業するために

安全に関する警告について

本機には、印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて

危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。

警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。

注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。

警告



トウィン巻付装置を調整する時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。必ず作業クラッチおよびエンジンを切ってから行ってください。

警告



運転中又は回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。ピックアップへの手供給は、危険です。やめてください。ピックアップ部に草が詰まった時は、必ず作業クラッチおよびエンジンを切ってから除去してください。

部品番号 106538

注意

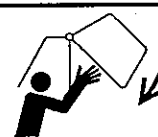


本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

1. 作業に当たった、だぶつきのない服装で行ってください。
2. 酒を飲んだとき、疲労がみ、病状や怪傷しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転前には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力減速や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようにして下さい。

部品番号 106419

注意



ゲートの開閉の際、ゲートに挟まれケガをする事があります。安全を確認して開閉してください。

部品番号 106537

警告

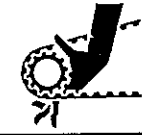


ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。

ゲートを開けて点検・調整する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定して下さい。

部品番号 106485

注意



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106498



火気禁止 メガネ着用 こと禁止 破損注意 説明書熟読 爆発注意

バッテリーは水素ガスの発生があり、取扱いを誤ると引火燃焼のおそれがあります。この12Vバッテリーはエンジン始動用です。他の用途には使用しないでください。

充電は風通しのよいところで行い、ショートやスパークをさせないでください。

ブラスターケーブルの使用は車両またはバッテリーの取扱説明書をお読みください。

バッテリー液（希硫酸）で皮膚や衣類を汚すことがあります。目、皮膚、衣服、物についたときはすぐに多量の水で洗い、飲み込んだときはすぐに多量の水を飲んでもください。目に入ったときや飲み込んだときは医師の指導を受けてください。

液面がLOWER LEVEL 近くになったら補充し、UPPER LEVEL 以上入れないでください。

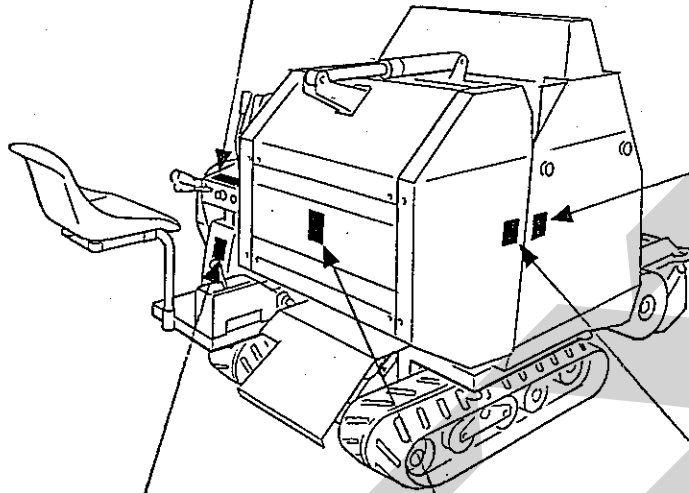
部品番号 HL2000375156

375156



	<p>警告</p> <p>機体の高い場所で運転すると、埃やガスにより中毒になる事があります。窒息や昏倒を伴う、十分に換気をしてください。</p>		<p>危険</p> <p>走行中および作業中、転倒するおそれがあります。除雪作業や傾斜地では、十分に注意して使用してください。5°以上の傾斜地では、乗用装置には乗らないでください。10°以上の傾斜地では、作業しないでください。</p>	<p>危険</p> <p>本機改造厳禁</p> <p>本機を改造して使用すると、重大事故につながります。</p>	<p>危険</p> <p>高速走行注意</p> <p>傾斜地や凹凸地で高速走行すると、転倒・暴走し重大事故につながります。</p>	<p>危険</p> <p>障害物注意</p> <p>前進時、後方に障害物があると転倒・暴走時にはさまれ、重大事故につながります。</p>	<p>危険</p> <p>傾斜地走行注意</p> <p>傾斜地で、走行クラッチを切ると本機が暴走して重大事故につながります。</p>
--	---	--	--	--	---	--	--

部品番号 HL330656000



注意

運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないで下さい。

部品番号 106498

注意

- 本機はほ場内作業機です。公道での乗車運行はできません。乗車運行した場合は、道路交通法に違反します。
- 畦を越える時、機械が転倒しケガをする事があります。畦越えは低速で、畦に直角に行ってください。高い畦を越える時は、アユミ板等を使用してください。
- トラクタへの積み下ろしの際、機械が転倒しケガをする事があります。平坦で堅固な場所で、登坂角15°以下となるアユミ板を用い、低速で行ってください。乗用装置には乗らないでください。アユミ板の上では、走行クラッチおよびサイドクラッチを操作しないでください。搭載後は駐車ブレーキをかけ、ロープで固定してください。
- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。駐車ブレーキをかけ、走行クラッチおよび作業クラッチを切ってください。
- エンジンをかけたまま機械から離れると、不意に機械が動き出し思わぬ事故を起こす事があります。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。
- 運転中または回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれケガをすることがあります。カバーを開けないでください。

部品番号 HL3306560400

警告

ゲートを開ける時、後方に入っていると壁などの間に挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。

後方をよく確認してから開けて下さい。

部品番号 106489

警告

ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないで下さい。

ゲートを開けて点検・調整する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定して下さい。

部品番号 106485

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業員などへ危険を知らせる大事なものです。ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、本取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲ 注意

- 機械の取り扱いで分からない事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していないため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こし、ケガをする事があります。取扱説明書は分からない事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲ 注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項、取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲ 警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。
 - 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
 - 酒を飲んだ時。
 - 機械操作が未熟な人。
 - 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲ 警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。
 - 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
 - ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。

- ヘルメットを着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはない。

機械を他人に貸す時は

▲ 警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からないため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲ 注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。機械の改造はしないでください。アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲ 注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

燃料を補給する時は

▲ 危険

- 給油口に火気を近づけると、火災になる事があります。火気を近づけないでください。給油中はエンジンを停止してください。

エンジン始動・発進する時は

▲ 警告

- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になる事があります。窓や戸等をあけ、十分に換気をしてください。

▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。駐車ブレーキをかけ、走行クラッチおよび作業クラッチを切ってください。
- 急発進すると事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

公道走行禁止

▲ 注意

- 本機はほ場内作業機です。
公道での乗車運行はできません。
乗車運行した場合は、道路交通法に違反します。
一般道路を移動する時は、トラックなどで運んでください。

積み下ろしをする時は

▲ 注意

- 本機の重量が700kgありますので、軽トラックでの運搬は道路交通法の違反となります。
軽トラックでの運搬はしないでください。
- トラックへの積み下ろしの際、機械が転倒し、ケガをすることがあります。
平坦で堅固な場所で、登坂角15°以下となるアユミ板を用い低速で行ってください。
乗用装置には乗らないでください。
アユミ板の上では、走行クラッチおよびサイドクラッチを操作しないでください。
搭載後は駐車ブレーキをかけ、ロープで固定してください。
- トラックへの積み降ろしの際、機械が転倒し、ケガをすることがあります。
後進で積み込み、前進で降ろす様にしてください。

移動走行する時は

▲ 危険

- 走行中および作業中、転倒するおそれがあります。
路肩付近や軟弱地では、十分注意して使用してください。
5°以上の傾斜地では、乗用装置には乗らないでください。
10°以上の傾斜地では、作業しないでください。
- 傾斜地や凹凸地で高速走行すると、転倒・転落し重大事故につながります。
低速走行してください。
- 後進時、後方に障害物があると、転倒や障害物にはさまれ、重大事故につながります。
障害物がないことを確認して、後進してください。
- 傾斜地で走行クラッチを切ると、本機が暴走して重大事故につながります。
傾斜地走行時は、走行クラッチを切らないでください。

▲ 注意

- 本機は、ほ場内作業機です。
公道での乗車運行はできません。
乗車運行した場合は道路交通法に違反します。

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こすことがあります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 側面が傾斜していたり、側溝がある通路で路肩を走行すると転落事故を起こすことがあります。
路肩は走行しないでください。
- 畦を越える時、機械が転倒し、ケガをすることがあります。
畦越えは低速で畦に直角に行ってください。
高い畦を越える時は、アユミ板等を使用してください。
- 本機の上に人を乗せると、転落し、ケガをすることがあります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせることがあります。
本機の上には、人や物などはのせないでください。
- 作業クラッチを切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせることがあります。
移動走行する時は、作業クラッチを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲ 危険

- 走行中および作業中、転倒するおそれがあります。
路肩付近や軟弱地では、十分注意して使用してください。
5°以上の傾斜地では、乗用装置には乗らないでください。
10°以上の傾斜地では、使用しないでください。
- ▲ 警告
- 運転中又は回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
周囲に人を近づけないでください。
ピックアップへの手供給は、危険です。
やめてください。
ピックアップ部に草が詰まった時は、必ず作業クラッチ及びエンジンを切ってから除去してください。
- 運転中又は回転中、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをすることがあります。
ローラに触れないでください。
ローラに草が巻き付いた時は、作業クラッチ及びエンジンを切ってから除去してください。

- ゲートを開ける時、後方に人がいると壁などの間に挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。後方をよく確認してから開けてください。
 - ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。ゲートを開けて点検・調整する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。
 - 傾斜地で排出すると、ベールが転がり、巻き込まれてケガをする事があります。ベールの排出は、平坦な場所で行ってください。
 - トワインを収納する時及びトワインを通す時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめてから行ってください。
 - 作業する時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
 - 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。低速で作業してください。下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
 - わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
 - 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事があります。しっかりとハンドルを握って運転してください。
- ▲ 注意**
- ゲートの開閉の際、ゲートに挟まれケガをする事があります。安全を確認して、開閉してください。
 - 運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをする事があります。カバーを開けないでください。
 - 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチ及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

本機から離れる時は

▲ 警告

- エンジンをかけたまま本機から離れると、不意に本機が動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は

▲ 注意

- 本機の調整や、付着物の除去などを行う時、作業クラッチ及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に本機が動きだし、思わぬ事故を起こす事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをする事があります。マフラーには触れないでください。
- 高圧洗車機等で本機を洗車すると、バッテリー、ブザー、エンジン等に水が入り破損の原因となります。洗車時、水がかからない様に注意してください。

終業点検の励行

▲ 注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲ 警告

- トウィン巻付装置を調整する時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。作業クラッチおよびエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・調整中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。

▲ 注意

- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して思わぬ事故を起こす事があります。平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチおよびエンジンをとめずに点検・整備すると、第三者の不注意により、不意に本機が動き出して思わぬ事故を起こす事があります。作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- マフラーに触れるとヤケドをする事があります。マフラーには触れないでください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルで、ケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。元通りに取り付けてください。

● 初めて使用する前に

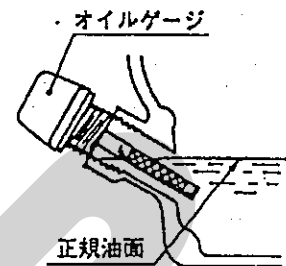
初めて使用する前に次のことを行ってください。

1. エンジンオイルを点検してください。

- エンジンオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合は正規油面まで補充してください。
- オイルは下記オイルを使用してください。

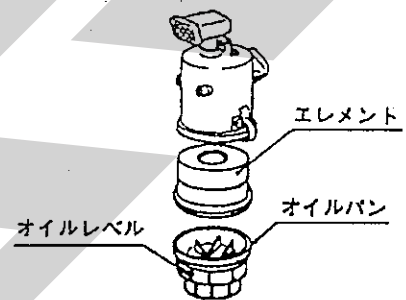
自動車用 ガソリンエンジンオイル	マルチグレード	10W-30
	シングルグレード	30#

エンジンオイル量	メイキ	クボタ	ヤンマー
	約1.2ℓ	約0.9ℓ	約1.2ℓ



2. エアフィルタのオイルを点検してください。

- エアフィルタにオイルが規定量入っているか点検し、少ない場合はオイルレベルまで補充してください。
- オイルはエンジンオイルと同じ物を使用してください。



3. 燃料の量を点検してください。

- 燃料タンクに燃料が入っているか、燃料ゲージにて点検し、少ない場合は補給してください。
- 燃料タンクに注入する時はあふれさせないようにしてください。
- 燃料は自動車用無鉛ガソリンを使用してください。

▲ 危険

- 給油口に火気を近づけると火災になる事があります。
火気を近づけないでください。
給油中はエンジンを停止してください。

も く じ



安全に作業するために

安全に関する警告について 1	作業が終わったら 5
作業前に 3	不調処置・点検・整備をする時 6
作業中は 4		



初めて使用する前に..... 7

1 各部の名称と運転

1 各部の名称とはたらき 10	2 運転の仕方 13
--------------	----------	---------	----------

2 運転を始める前の点検

1 運転前の点検 16	3 給油箇所一覧表 19
2 エンジン始動での点検 17		

3 運搬の仕方

1 積み込み方 21	2 降ろし方 21
---------	----------	--------	----------

4 作業の仕方

1 本作業機の使用目的 22	3 作業要領 23
2 作業のための調整 22		

5 作業が終わったら

1 作業後の手入れ ……………25

2 長期格納する時 ……………25

6 点検と整備について

1 点検整備一覧表 ……………26

2 各部の調整 ……………26

7 不調時の対応

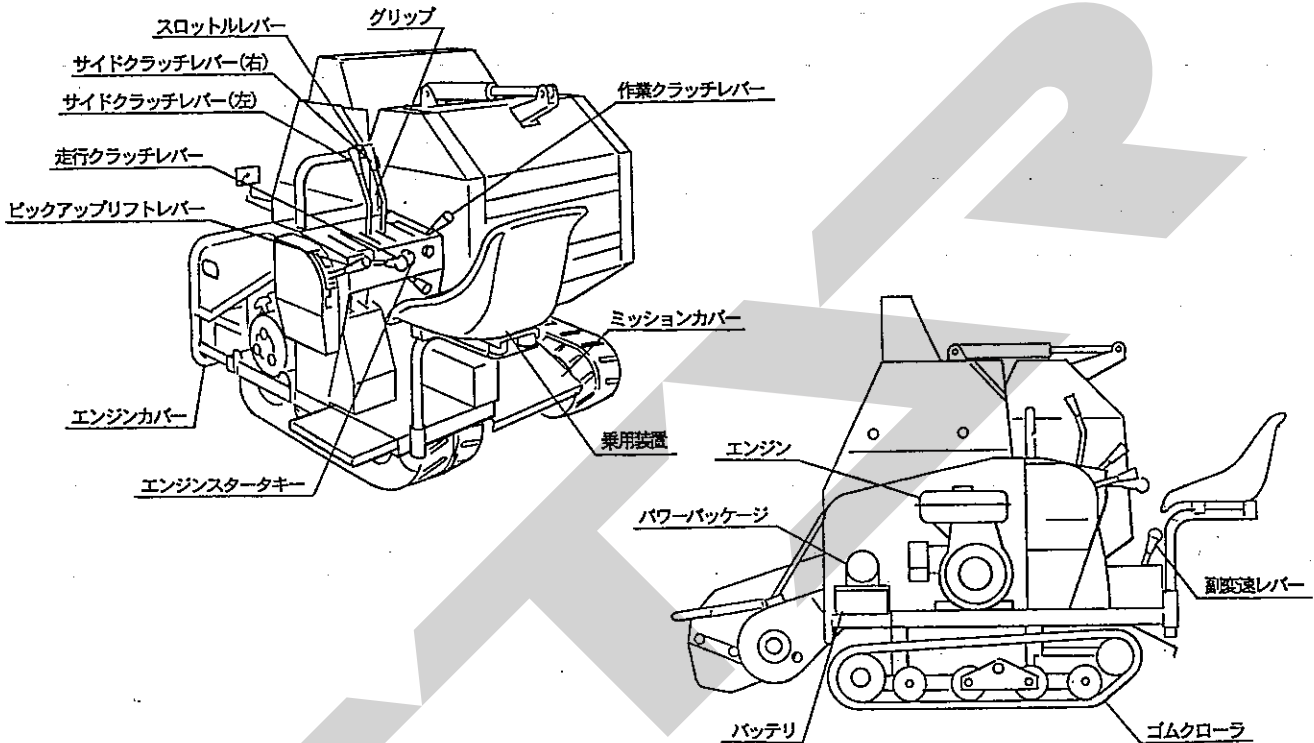
1 不調処置一覧表 ……………31

1 各部の名称と運転

適切な装着で安全な作業をしましょう。

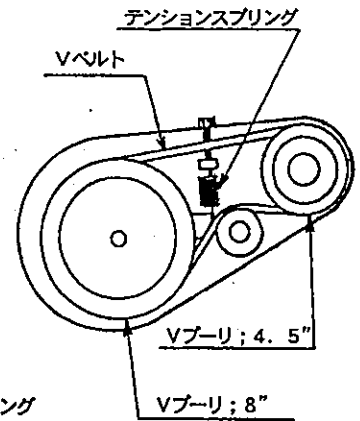
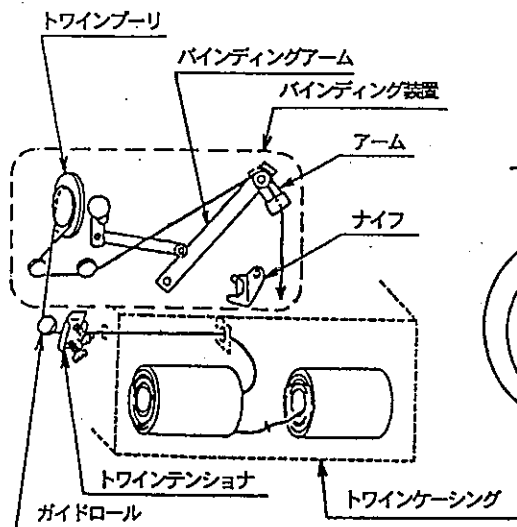
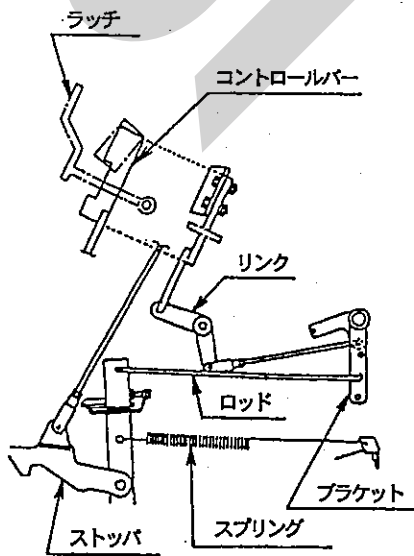
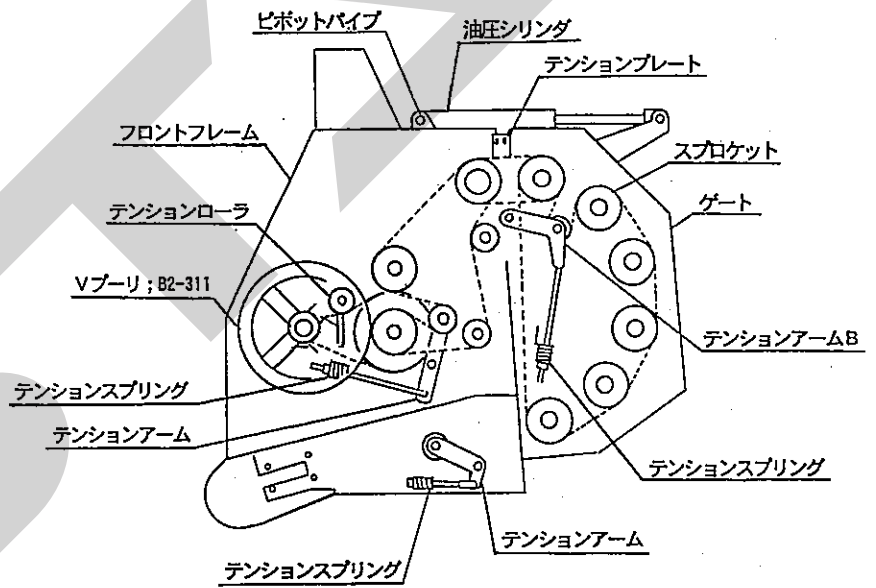
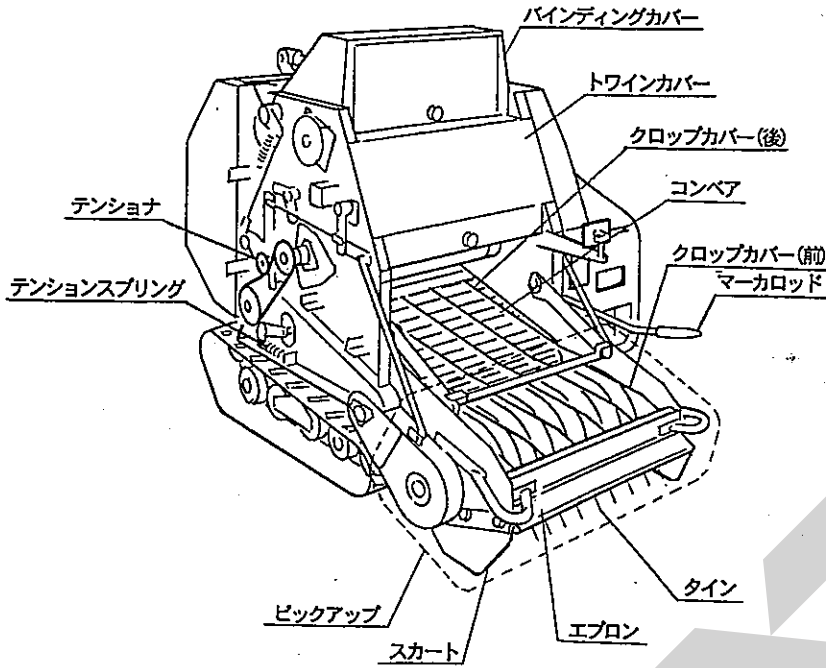
1 各部の名称とはたらき

1. 足回り



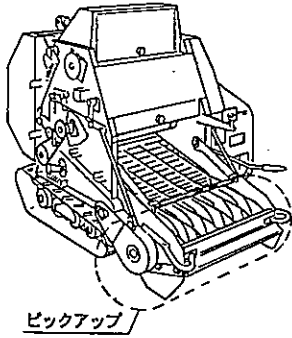
- (1) 走行クラッチレバー
本機を前後に走行・停止させる時に使用します。
手前に引くと、駐車ブレーキがかかります。
- (2) 副変速レバー
前進3速、後進1速の走行速度を選択します。
- (3) サイドクラッチレバー (右・左)
本機を旋回させる時に使用します。
右へ旋回する時は右を、左に旋回する時は左のレバーを手前へ引きます。
- (4) スロットルレバー
エンジンの回転数を調整します。
- (5) 作業クラッチレバー
ロールベアラの回転・停止、ゲートの開閉に使用します。
- (6) エンジンスタータキー
エンジンの始動・停止に使用します。
- (7) ピックアップリフトレバー
ピックアップの作業高さの調整をします。
- (8) グリップ
作業中及び走行中に、運転者の姿勢を安定させるためにつかまる所です。
- (9) 乗用装置
平坦な場所を作業・走行中に簡易的に腰かける部分です。
- (10) エンジン
走行・ロールベアラの回転の動力源です。
- (11) バッテリー
エンジンの始動、ライトの点灯の電源です。
- (12) パワーパッケージ
ゲート開閉の油圧発生源です。
- (13) エンジンカバー
エンジン・パワーパッケージ・バッテリーの防塵カバーです。
- (14) ミッションカバー
走行ミッションケースの防塵カバーです。
- (15) ゴムクローラ
走行のためのゴム製の履帯です。

2. 作業部



(1) ピックアップ

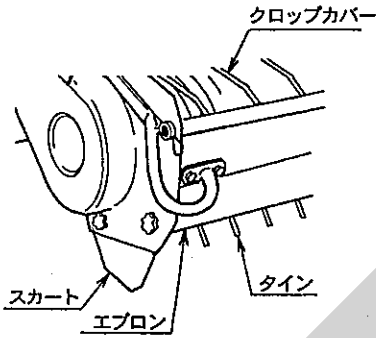
牧草・稲ワラを拾い上げ、コンベアへ送るものです。



(2) クロップカバー、エプロン、スカート

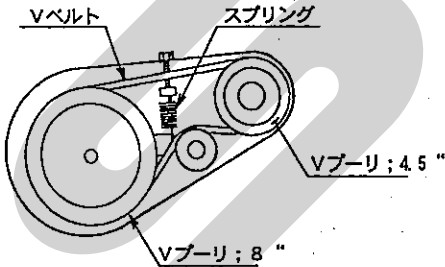
クロップカバーは、牧草・稲ワラのチャンバへの円滑な供給を補助するものです。

エプロン、スカートは、切断ワラ等の梱包の際に取付けて、拾い上げの効率を上げるものです。



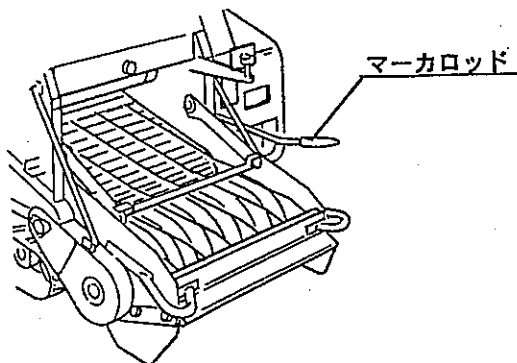
(3) Vベルト、Vプーリ

ピックアップへ動力の伝達を行います。過負荷が作用した場合にははずり、ピックアップ部の破損を最小限におさえます。



(4) マーカロッド

梱包作業の際、ウインドローとピックアップの位置あわせの目印に使用します。



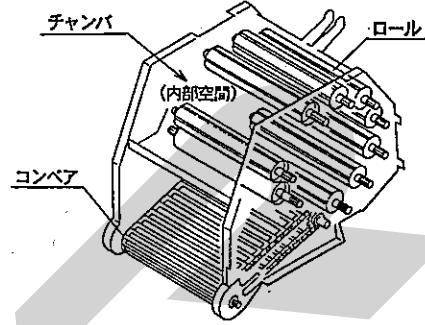
(5) コンベア

ピックアップで拾い上げた牧草・稲ワラをチャンバへ供給するものです。

(6) チャンバ、ロール

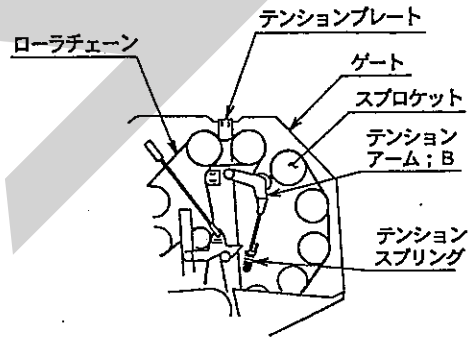
チャンバは、ベールを成形する部屋です。

ロールは、牧草・稲ワラをチャンバ内で回転させながら円柱状のベールに成形させるものです。



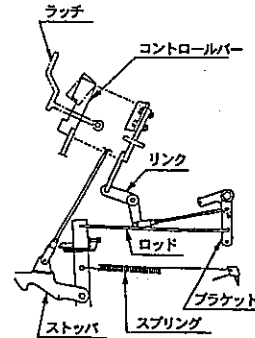
(7) スプリング (テンションスプリング)

ローラチェーンに適正な張りを与えるものです。



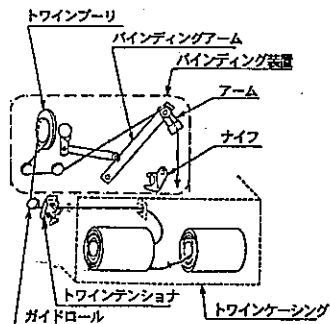
(8) ロッド、ブラケット

ロッドのブラケットへの取付穴を変えて、梱包密度の調整を行います。



(9) バインディング装置

成形が完了したベールにトワインを巻付けるものです。



2 運転の仕方

- エンジンに付属された取扱説明書を熟読の上、エンジンを操作してください。

▲ 警告

- 換気の悪い場所で運転すると、排気ガスにより中毒になる事があります。窓や戸等をあけ、十分に換気をしてください。

▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをする事があります。駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってください。
- 作業クラッチを切らないでエンジンを始動すると、急にピックアップやローラが駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。作業クラッチを切ってから始動してください。
- 急発進すると、事故を起こす事があります。周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

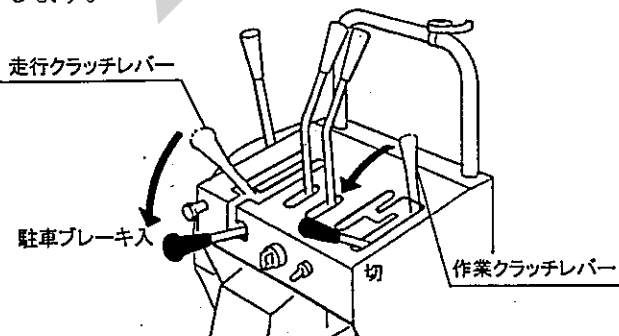
1. 走行の仕方

- (1) 燃料の量を点検し、少ない場合は自動車用無鉛ガソリンを補給してください。

▲ 危険

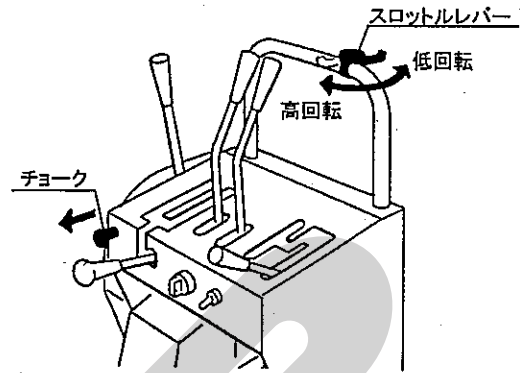
- 給油口に火気を近づけると火災になる事があります。火気を近づけないでください。給油中はエンジンを停止してください。

- (2) エンジンの燃料コックを“ON”「開」の位置にします。(エンジン取説参照)
- (3) 作業クラッチレバーを「切」の位置に、走行クラッチレバーを「駐車ブレーキ入」の位置にします。

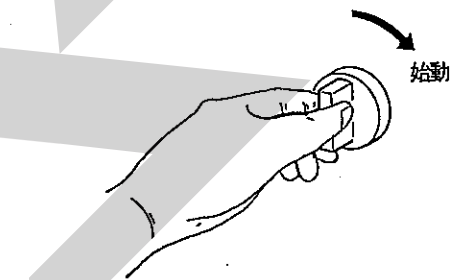


- (4) チョークレバーを引きスロットルレバーを中回転程度の位置にします。

(エンジンを暖まっている場合は、チョークレバーはあまり使用しない…エンジン取説参照)



- (5) エンジンスタータキーを「始動」側に回し、エンジンを始動させます。



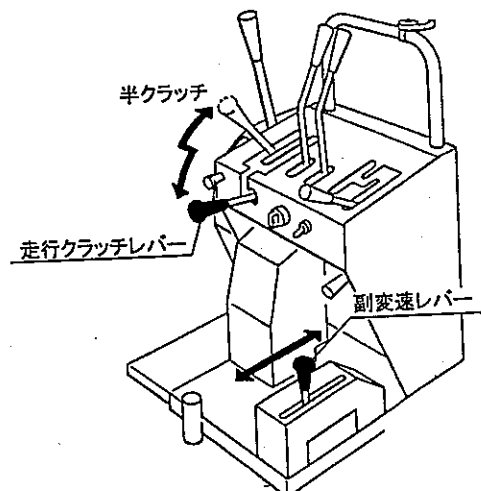
- (6) エンジンが始動したらチョークレバーをもとに戻し、スロットルレバーを低回転側へ動かし暖気運転します。

エンジンが暖まっていないと、エンジンがとまってしまうことがあるので暖まってからチョークレバーを戻してください。(エンジン取説参照)

- (7) スロットルレバーを中回転程度まで回し、エンジンの回転数を上げます。

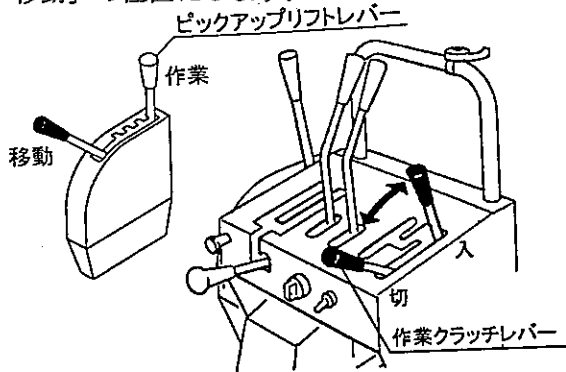
- (8) 副変速レバーで希望の位置に変速します。(前進1～3速、後進1速)

副変速レバーが入らない場合は、走行クラッチレバーを半クラッチの位置に入れたあと入れ直してください。

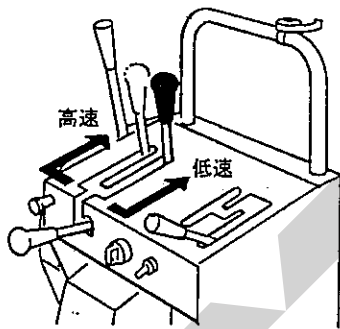


(9) 梱包作業をする場合は、作業クラッチレバーを「入」の位置に、ピックアップリフトレバーを目的の作業高さの位置にします。
 (ロールベアラ本体の各部が回転します。作業要領の詳細は、「4-3-2 実作業の要領」を参照してください。)

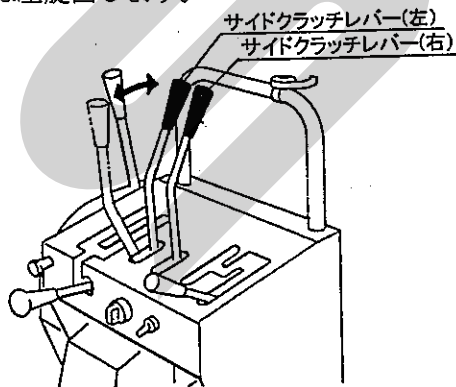
移動をする場合は、作業クラッチレバーを「切」の位置に、ピックアップリフトレバーを「移動」の位置にします。



(10) 走行クラッチレバーを「低速」または「高速」に入れると、本機が走行します。



(11) 右のサイドクラッチレバーを手前に引けば右旋回し、左のサイドクラッチレバーを手前に引けば左旋回します。



[作業速度のめやす]

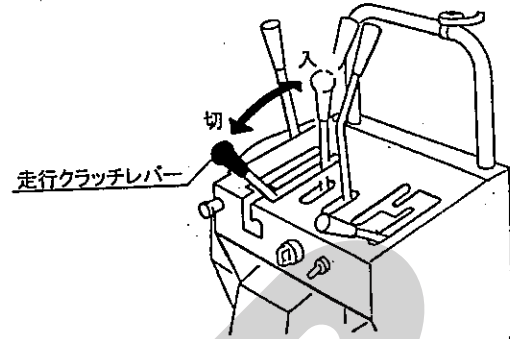
	1 速	2 速	3 速	後進
低速	0.9	1.8	3.1	0.9
高速	1.4	2.6	4.5	1.3

単位km/hrエンジン回転最大時

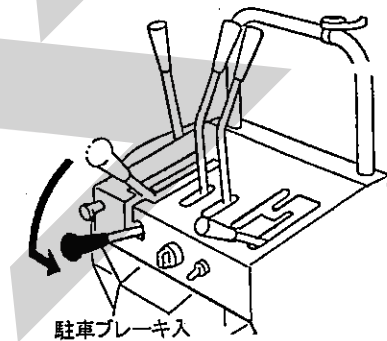
※ 作業速度は、使用条件により異なります。

2. 停止の仕方

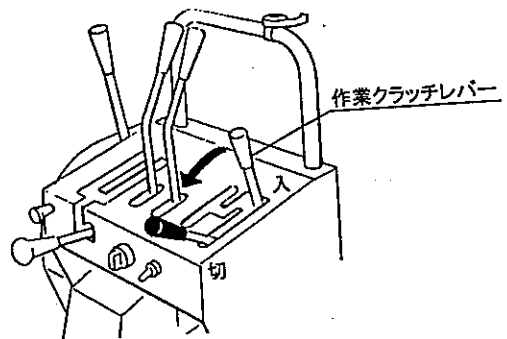
(1) 走行クラッチレバーを「切」の位置にし、本機の走行を停止します。



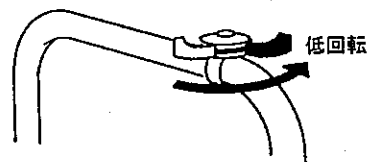
(2) 本機の走行が止まったら、走行クラッチレバーを「駐車ブレーキ入」の位置にします。



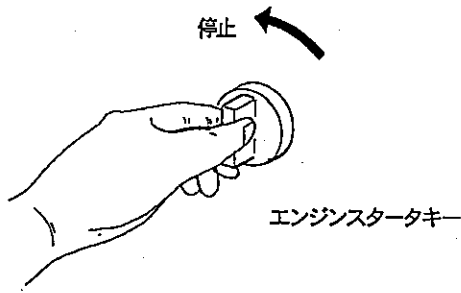
(3) 作業クラッチが「入」にある場合は、「切」の位置にします。



(4) スロットルレバーを低回転側へ動かします。



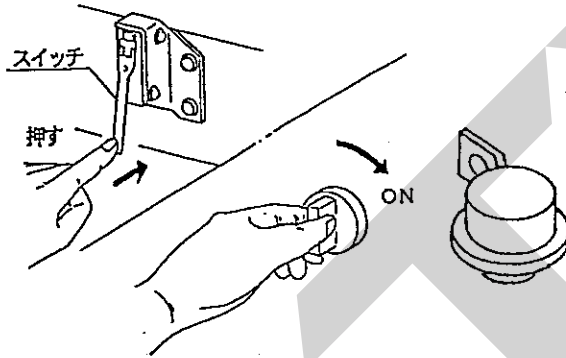
- (5) エンジンスタータキーを「停止」側に回します。



- (6) エンジンの燃料コックを“OFF”「閉」の位置にします。(エンジン取扱説明書参照)

3. ブザー

- (1) エンジンスタータキーをONにしてください。
 (2) バインディング装置のスイッチを押して、ブザーが鳴ることを確認してください。



取扱い上の注意

ブザーは、完全防水ではありませんので、洗車時、水がかからない様に注意してください。ブザーの中に水が入り、音が鳴らなくなる事があります。

4. トワインの通し方

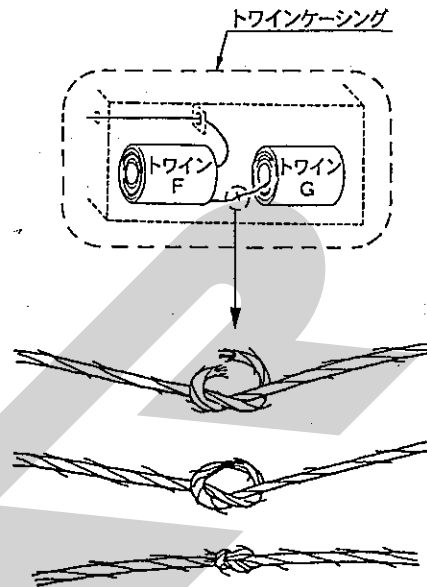
警告

- トワインを収納する時およびトワインを通す時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。作業クラッチを切りエンジンをとめてから行ってください。

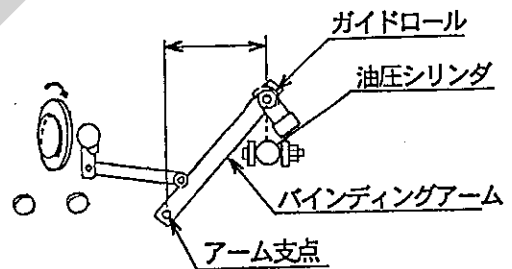
取扱い上の注意

トワインは、スター純正の次のものを使用してください。
 TG0800 (ジュート 8500フィート)
 TP0800 (PP 11000フィート)

- (1) トワインを、トワインケーシング内に2個収納してください。
 (2) トワインFの終わりとGの始めを結んでください。結び目はできるだけ小さくしてください。

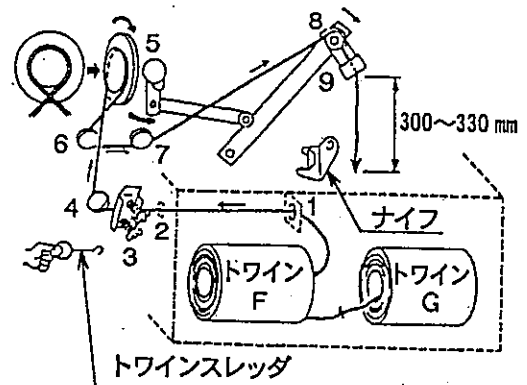


- (3) トワインプーリを矢印の方向に回し、バインディングアームを外側から内側に向かうよう移動させ、先端ガイドロールが油圧シリンダと同じ位置になるようにとめてください。



- (4) トワインFの始端部1~9の順序で通します。通しにくい所は、トワインスレッダを使用してください。

トワインFの始端部をナイフで切り、トワイン長さが300~330mmになるようにして下げておきます。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. 製品本体の点検

- (1) 各部取付けボルトに緩みはないか。
不具合が見つかった時は増し締めしてください。
- (2) ローラチェーンの張りは適正か。
不具合が見つかった時は、「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」の説明に基づき調整してください。
- (3) 梱包密度検出リンク部は、正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-6 梱包密度検出リンクの調整」の説明に基づき調整してください。
- (4) ピックアップのテンションスプリングは正規寸法か。
不具合が見つかった時は、「6-2-2 ピックアップのVベルトの張り調整」の説明に基づき調整してください。
- (5) トワインテンションのスプリングは正規寸法か。
不具合が見つかった時は、「6-2-3 トワインテンションの調整」の説明に基づき調整してください。
- (6) バインディングナイフは、トワインの切れが良いか。
不具合が見つかった時は、「6-2-5 バインディングナイフの調整」の説明に基づき不具合を解消してください。
- (7) トワインは十分あるか。トワインの通し方は正しいか。バインディングアームは正規の位置になっているか。
不具合が見つかった時は、「1-2-4 トワインの通し方」の説明に基づき不具合を解消してください。
- (8) タイン・ロータフラッシュに損傷がないか。
損傷している時は、部品表を参考に部品を交換してください。

- (9) 各部に牧草・稲ワラの詰まりはないか。
詰まりがある時は除去してください。
- (10) 各部の給油・注油・給脂は十分か。
不具合が見つかった時は、「2-3 給油箇所一覧表」の説明に基づき給油してください。
- (11) 作業クラッチベルトは正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-11 作業機駆動ベルトの調整」の説明に基づき調整してください。
- (12) クローラは、正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-8 足回りの調整」の説明に基づき調整してください。
- (13) サイドクラッチレバーは、正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-9 サイドクラッチレバーの調整」の説明に基づき調整してください。
- (14) 駐車ブレーキは、正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-10 駐車ブレーキの調整」の説明に基づき調整してください。
- (15) 走行クラッチレバーは正規の状態に調整されているか。
不具合が見つかった時は、「6-2-7 走行ベルトの調整」の説明に基づき調整してください。

2. エンジンの点検

エンジンに付属された取扱説明書に基づき、エンジン運転前の点検を行ってください。

▲ 注意

- エンジンを始動する時、機械が急に動いてケガをすることがあります。
駐車ブレーキをかけ、主クラッチ・作業クラッチを切ってから始動してください。

3. バッテリーの点検

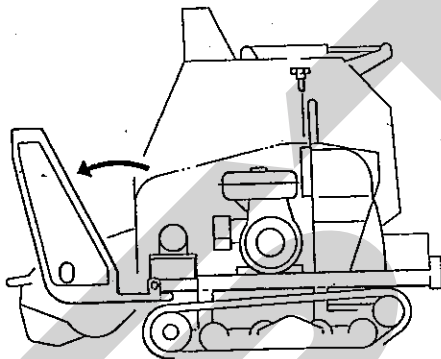
▲ 危険

- バッテリーは水素ガスの発生があり、取扱いを誤ると引火爆発のおそれがあります。
- この12Vバッテリーはエンジン始動用です。他の用途には使用しないでください。
- 充電は風通しの良い所で行い、ショートやスパークをさせないでください。
- ブースタケーブルの使用は、危険のないように取り扱ってください。
- バッテリー液(希硫酸)で失明やヤケドをする事があります。
目・皮膚・衣服・物についたときはすぐに多量の水で洗い、飲み込んだ時はすぐに多量の飲料水を飲んでください。
目に入った時や飲み込んだ時は、医師の治療を受けてください。
- 液面が LOWER LEVEL 近くになったら補水し、UPPER LEVEL 以上入れないでください。

(1) 点検の仕方

本機を水平な場所に置いて、

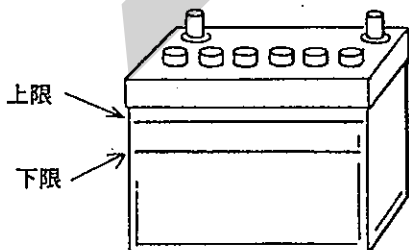
- ① エンジンカバーを開けます。



- ② 電解液面の位置を確認します。

上限と下限の間であれば適正です。

下限より低い場合は、精製水を補充してください。



(2) 補充電の仕方

取扱い上の注意

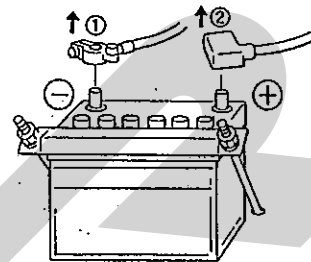
- バッテリーは本機から取外して充電してください。

- 急速充電はバッテリーの寿命を縮めます。通常の充電を行ってください。

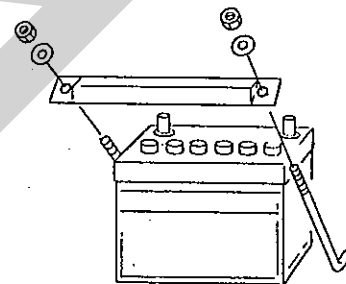
- 気温が低い期間はバッテリーの性能が低下しますので管理には十分注意してください。

- バッテリーは自己放電しますので、定期的に補充電してください。

- ① バッテリーの(-)端子を取外します。
次に(+)端子を取外します。



- ② バッテリーの固定金具を外し、バッテリーを本機から取外します。



- ③ 平坦で乾燥した日陰で充電器にて充電してください。

- ④ 充電が終わったら、取外しの反対の手順で本機に取付けてください。

2 エンジン始動での点検

1. ゲート開閉油圧系統の点検

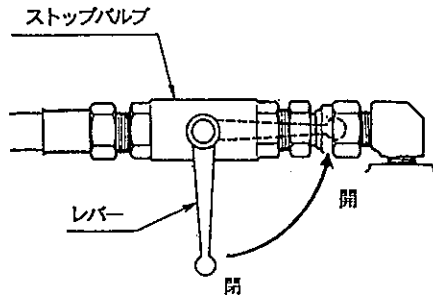
▲ 警告

- ゲートを開ける時、後方に人がいると壁などの間に挟まれ、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。後方をよく確認してから開けてください。
- ゲートを閉じる時、中に人がいるとゲートに挟まれ、ケガをすることがあります。周囲に人を近づけないでください。ゲートを開けて点検・調整する時は、ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。

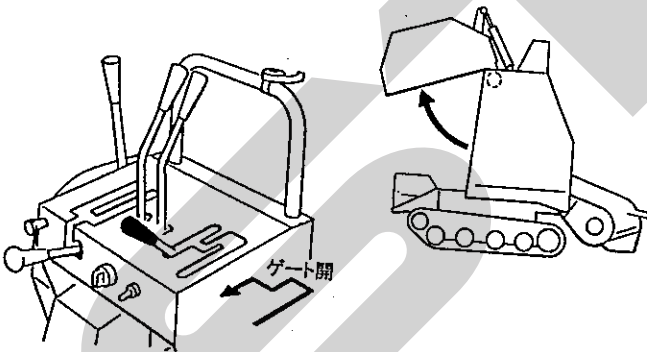
注意

- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下でケガをする事があります。補修もしくは部品交換してください。継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- ゲートの開閉の際、ゲートに挟まれケガをする事があります。安全を確認して開閉してください。

(1) ゲート開閉のストップバルブのレバーを「開」側に切替えます。



(2) 本機のエンジンを始動させて、作業クラッチレバーを操作してゲートを開けます。



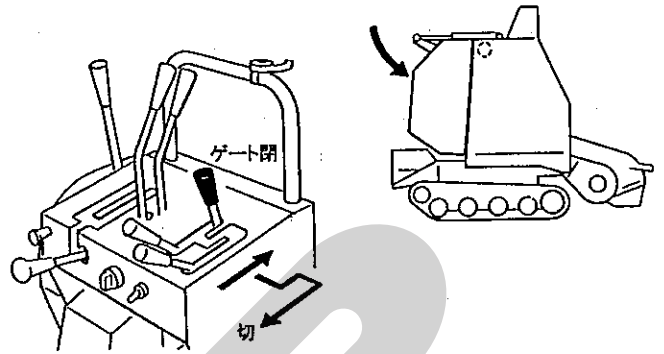
(3) ゲートが完全に開いたら、作業クラッチレバーから手を離し、ゲートが下降するか確認します。

下降しなければ異常はありません。

ゲートが下降する場合は、オイル洩れ箇所を探し、補修または部品交換をしてください。

オイル洩れがないのに下降する場合は、ゲートの開閉を10回ほど繰り返して、エア抜きをしてください。

(4) 確認が終わったら、作業クラッチレバーを操作してゲートを閉じたあと、「切」の位置にしてロールベアラの回転を止め、エンジンを停止させます。

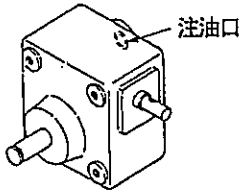


3 給油箇所一覧表

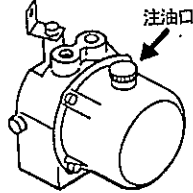
○ 給油・塗布するオイルは清浄なものを使用してください。

○ グリースを給脂する場合、適量とは、古いグリースが排出され、新しいグリースが出るまでです。

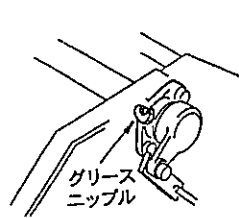
1. ウォームボックス



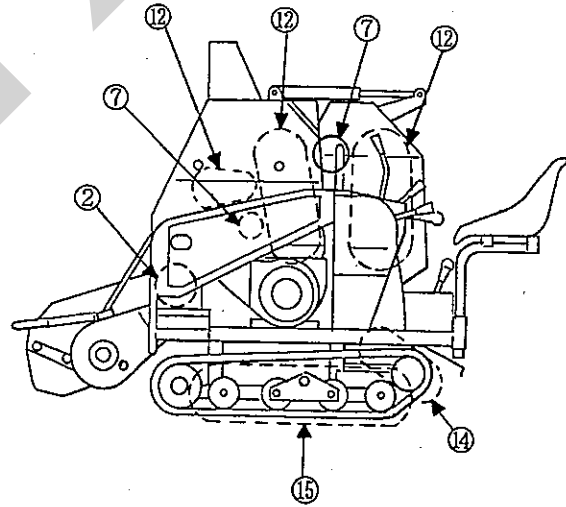
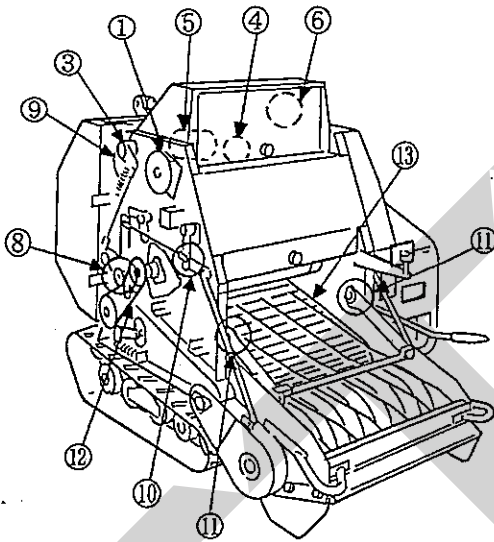
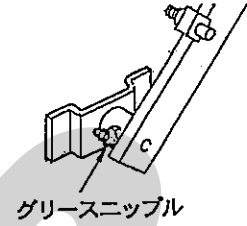
2. パワーパッケージ



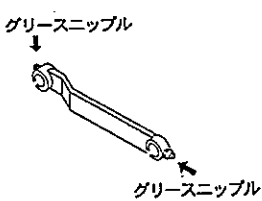
3. ハウジング



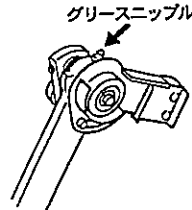
4. アームサポート



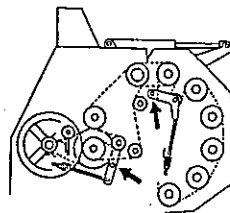
5. クランクバー



6. バインディングアーム



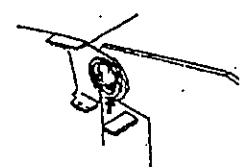
7. テンションアーム支点



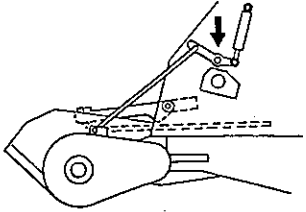
8. リンク支点



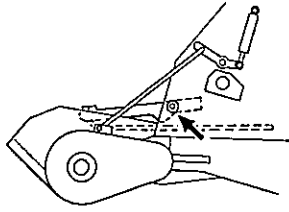
9. ゲート支点



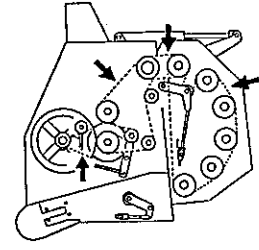
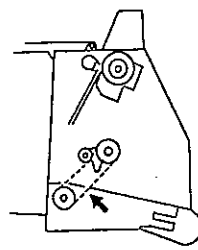
10. ピックリフト支点



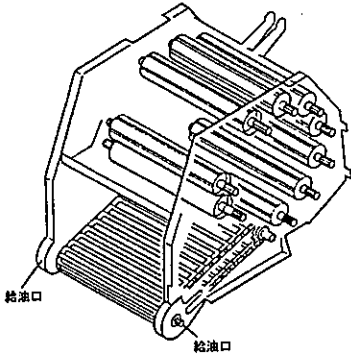
11. クロップカバー支点



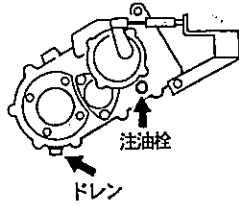
12. ローラチェーン



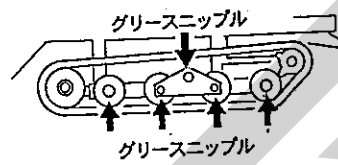
13. コンベアチェーン



14. ミッションケース



15. 遊動輪



No.	給油箇所	箇所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ウォームボックス	1	※ ギヤオイル SAE 90 API GL-5	交換不要	0.15 ㍓	
2	パワーパッケージ	1	"	100時間	0.6 ㍓	
3	ハウジング	2	グリース;2号	使用ごと	適量	グリースニップル
4	アームサポート	1	"	"	"	"
5	クランクカバー	2	"	"	"	"
6	バインディングアーム	1	"	"	"	"
7	テンションアーム支点	2	オイル注油	"	"	
8	リンク支点	4	"	"	"	
9	ゲート支点	2	"	"	"	
10	ピックリフト支点	2	"	"	"	
11	クロップカバー支点	2	"	"	"	
12	ローラチェーン	4	"	"	"	
13	コンベアチェーン	2	"	"	"	
14	ミッションケース	1	※ ギヤオイル SAE 90 API GL-5	使用開始 50 時間 その後はシーズン毎	注油口 まで	約 2.5 ㍓
15	遊動輪	10	グリース;2号	使用ごと	適量	グリースニップル
16	エンジン	1	マルチグレード 10W-30 シングルグレード 30 [#]	使用開始 50 時間 その後はシーズン毎	"	メイキ 約 1.2 ㍓ ヤンマー 約 1.2 ㍓ クボタ 約 0.9 ㍓

※ コスモ石油「コスモギヤ GL-5 80W-90」又は相当品をお使いください。

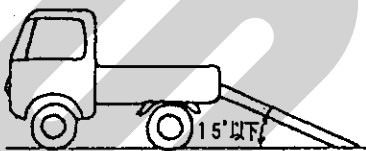
3 運搬の仕方

▲ 注意

- 本機は、ほ場内作業機です。公道での乗車運行はできません。乗車運行した場合は道路交通法に違反します。
- 本機の重量が700kgありますので軽トラックでの運搬は道交法の違反となります。軽トラックでの運搬はしないでください。
- トラックへの積み降ろしの際、機械が転倒しケガをする事があります。平坦で堅固な場所で、登坂角15°以下となるアユミ板を用い、低速で行ってください。乗用装置には乗らないでください。アユミ板の上では走行クラッチおよびサイドクラッチを操作しないでください。搭載後は駐車ブレーキをかけ、ロープで固定してください。
- トラックへの積み降ろしの際、機械が転倒しケガをする事があります。後進で積み込み、前進で降ろす様にしてください。

本機の運搬は、本機の寸法および重量の積載を満足する運搬機（トラック等）を使用してください。

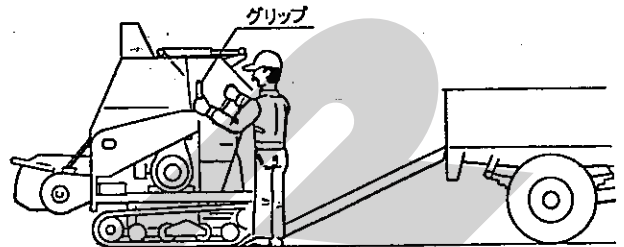
積込用のアユミ板は、積載荷重が0.8t以上で、本機の傾斜が15°以下となる長さ（荷台の高さの4倍以上）で幅30cm以上のものを使用してください。



1 積み込み方

1. アユミ板のセット幅は、アユミ板の幅方向の中心を本機クローラ中心に合うように運搬機にかけます。
この時、アユミ板が運搬機荷台から外れない事を確認してください。
2. 本機をアユミ板に平行となるよう、低速で走行させます。
3. 本機をアユミ板に載せてから運搬機に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。

4. 本機が運搬機に上がる瞬間が、本機のバランスが一番不安定となるため、十分注意が必要です。
本機の左側に立ち、グリップをしっかりと握って転倒を防止してください。



5. 本機が運搬機に完全に載ったら走行を停止してください。
6. 本機が運搬機荷台上で移動しないようしっかり固定してください。
7. 運搬機で本機を希望のところまで運搬します。

2 降ろし方

1. 本機と運搬機とを固定していたロープを取り外し、アユミ板を「3-1 積み込み方」の(1)のようにセットします。
2. エンジンを始動させます。
3. 本機をアユミ板に平行となるよう、低速で走行させます。
4. 本機をアユミ板に載せてから地面に完全にのるまでは、本機の走行速度は低速で走行してください。
5. 本機が運搬機からアユミ板にのる瞬間が本機のバランスが一番不安定となるため、十分注意が必要です。
本機の左側に立ち、グリップをしっかりと握って、転倒を防止してください。
6. 本機が地面に完全にのったら、走行を停止します。
7. エンジンスタートスイッチを「OFF」の位置にしてエンジンを停止させます。

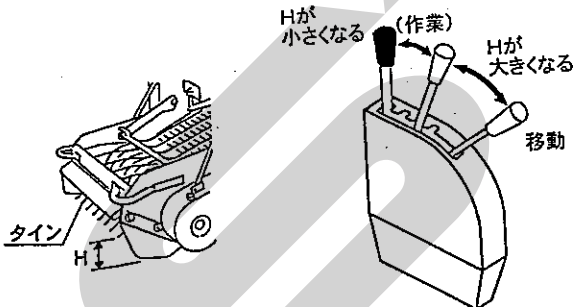
4 作業の仕方

1 本機の使用目的

- 本製品は、ほ場においての牧草、稲ワラ、麦かんの梱包作業に使用します。
他の用途には、使用しないでください。
河川敷、公園等の緑地での作業の場合、ゴミや石等が混入してコンベアパイプやローラ等本機を破損せる事があります。
ゴミや石等を除去して作業をしてください。
(1) 乾燥牧草の梱包は、原料水分が20%以下に低下してから行ってください。
(2) ラップサイレージの梱包は、原料水分が50~60%で行います。
- 雨上がり直後のほ場、ぬかるみのあるほ場、湿気の高いほ場では、作業を行わないでください。
ほ場が良く乾いてから作業を行ってください。

2 作業のための調整

- ピックアップのタイン地上高の調整
ピックアップのタイン地上高Hは、ピックアップリフトレバーで調整します。

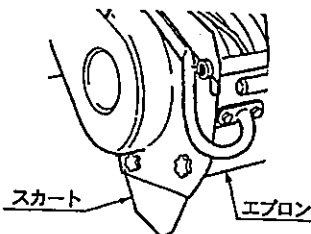


梱包するもの	H
切断ワラ	0 mm
長ワラ、牧草、束ワラ	20 mm

- エプロン、スカートの調整

梱包するものより、取付けと取外しをしてください。

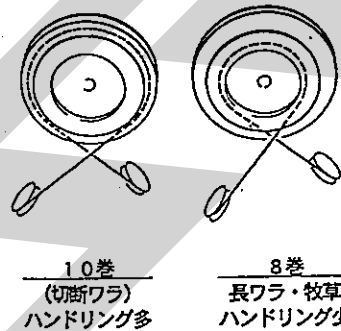
梱包対象	エプロン・スカート
切断ワラ	取付ける
長ワラ、牧草、束ワラ	取外す



- トワイン巻数の調整

ベールのトワイン巻数は、梱包するものや後作業でのハンドリングの回数により調整します。

梱包対象	ハンドリング	トワインプーリ	巻数
切断ワラ 乾燥ワラ	多 ↓ ↑	大径プーリ	10
牧草、長ワラ、束ワラ	少	小径プーリ	8



トワインの巻数は、トワインの太さにより若干変化し、トワインが太いと巻数が多くなります。
本表における巻数は、目安としてください。

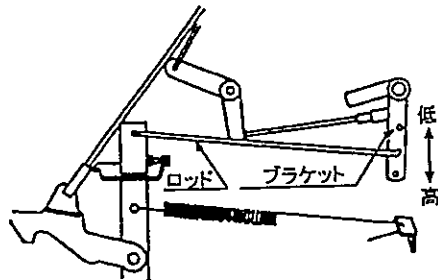
- 梱包密度の調整

取扱い上の注意

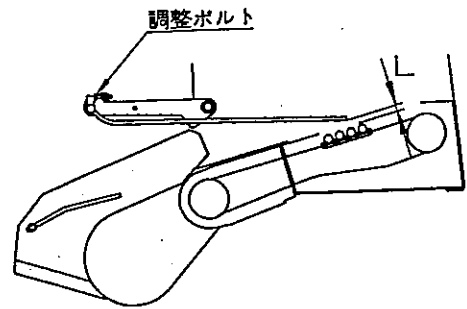
梱包密度を高くすると、所要動力は大きくなります。
エンジンの様子やほ場条件・目的に合わせて、梱包密度を調整してください。
ローラチェーンの発熱が激しい場合は、梱包密度を低くしてください。

- (1) ロッドによる調整

ロッドをブラケットの上の穴に取付けると密度は低く（軽く）なり、下の穴に取付けると密度は高く（重く）なります。

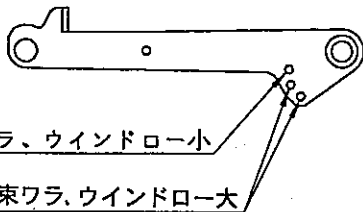


- (2) 作業速度による調整
 作業速度をおとすと、梱包密度は高くなります。
 作業状況に合わせて、作業速度を調整してください。



5. クロップカバー高さ調整

- (1) クロップカバーステーの調整
 梱包するものにより、ストップボルトの位置を調整してください。



切断ワラ、ウインドロー小
 長ワラ、牧草、束ワラ、ウインドロー大

- (2) クロップカバー先端高さの調整
 クロップカバーステーの調整後、梱包するものによりクロップカバー先端高さLを調整ボルトにて調整してください。

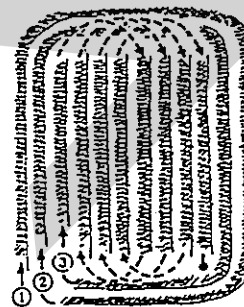
梱包対象	L
長ワラ、牧草、束ワラ	40~80mm
切断ワラ	5~10mm

3 作業要領

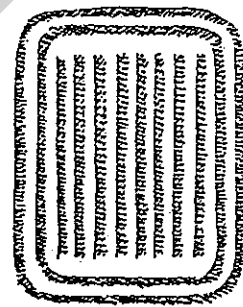
1. ウインドローの作り方

本作業機を能率よく使用するために、ウインドローは均一で巾70~80cm・高さ30~40cmとなるように作ってください。

又、作業機がほ場内をスムーズに作業できるような作業効率のよいウインドローの作り方を工夫しましょう。



作業順序



仕上り

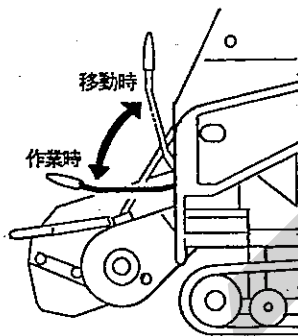
牧草	稲(麦)の長ワラ	稲(麦)の切断ワラ
<ul style="list-style-type: none"> ウインドローを作ってください。 	① 3・4条刈りコンバインの直落し作業	<ul style="list-style-type: none"> そのまま拾い上げ作業ができますが…。
↓	↓	↓
	そのままで拾い上げるのが最適です。 	ウインドローを作ればより能率の良い作業ができます。
	② 2条刈りコンバイン・ドロップ作業 <ul style="list-style-type: none"> ウインドローを作ってください。 	
	2条直落し ドロップ作業 	
	↓	

2. 実作業の要領

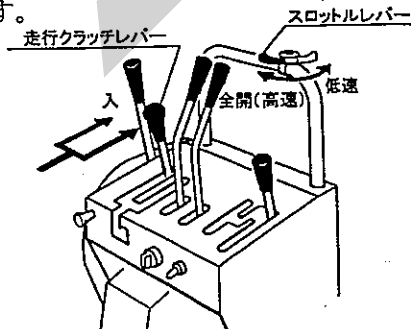
▲ 警告

- 運転中又は回転中、ピックアップに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。ピックアップ部に草が詰まった時は、必ず作業クラッチ及びエンジンを切ってから除去してください。
- 運転中又は回転中、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。ローラに触れないでください。周囲に人を近づけないでください。ローラに草が巻き付いた時は、必ず作業クラッチ及びエンジンを切ってから除去してください。

- (1) 作業姿勢でミラーでコンベア部が見えるように調整します。
- (2) マーカを前方に倒します。



- (3) 「1-2-1 走行の仕方」の要領でエンジンをかけます。
- (4) 作業クラッチレバーを「入」の位置に、ピックアップリフトレバーを目的の作業高さの位置にします。
- (5) 走行クラッチレバーを「入」にし、ウインドローに合わせて走行します。
切ワラなど乾燥していて短いものを梱包する場合は、エンジン回転を全開より少し落として、それ以外の場合はエンジン回転を全開にして作業します。

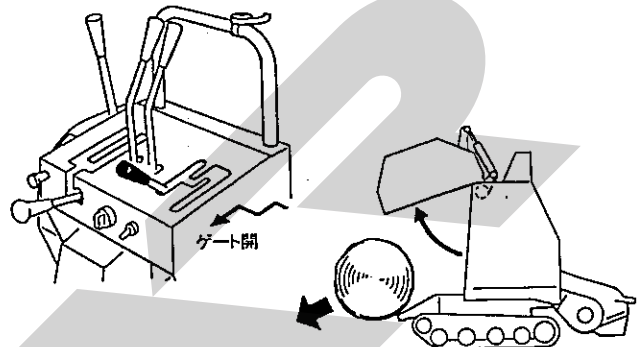


取扱い上の注意

- 作業速度は0.9～4.5 km/hrです。ほ場条件及びウインドローの大きさに合った速度で作業してください。

- 梱包を成形中及びトワイン巻付け中は、作業クラッチを切らないでください。

- (6) 設定梱包密度に達すると、ブザーが鳴り、トワインの巻付けが始まりますので、走行を停止してください。
- (7) トワインの巻付けが終了し、トワインが切断されると、バインディング装置が停止します。作業クラッチレバーを「ゲート開」にしてゲートを開け、ベールを排出します。



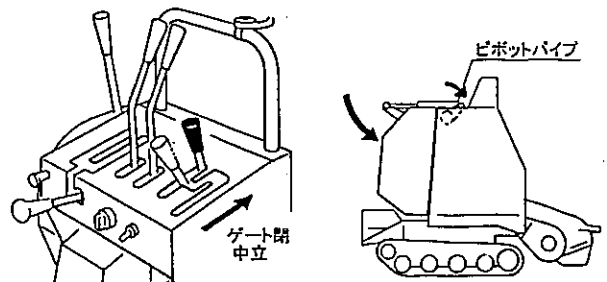
▲ 警告

- ゲートを開ける時、後方に人がいると壁などの間に挟まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。後方をよく確認してから開けてください。
- 傾斜地で排出するとベールが転がり、巻き込まれてケガをする事があります。ベールの排出は、平坦な場所で行ってください。

▲ 注意

- ゲートの開閉の際、ゲートに挟まれケガをする事があります。安全を確認して開閉してください。

- (8) ベールの排出が終わったら、作業クラッチレバーを「ゲート閉」にしてゲートを閉めます。この時、ピボットパイプが完全に前に倒れた事を確認してから手を離してください。ゲートを閉じたら次の作業に入ります。



5 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをすることがあります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 高圧洗車機等で本機を洗車すると、バッテリー、プザー、エンジン等に水が入り破損の原因となります。
洗車時水がかからない様に注意してください。

1 作業後の手入れ

1. ピックアップ装置部に付着した牧草などの収穫物を、ほ場の中で取り除いてください。
2. バインディング部に堆積したゴミなどを取り除いてください。
3. ローラに付着した牧草などの収穫物は、除去してください。
4. 側面の駆動部に堆積したゴミなどを取り除いてください。
5. 破損した部品、消耗した部品を交換・補充してください。
6. 点検整備一覧表に基づき駆動部、連結部などを点検してください。
7. 給油箇所一覧表に基づき油脂を補給してください。
8. 塗装されていない露出部は、さびを防ぐためにグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 点検整備一覧表に基づき駆動部などを点検してください。
又、破損した部品、消耗した部品を交換・補充してください。
3. 給油箇所一覧表に基づき油脂を補給してください。
回転・回動支点及び摺動部には注油し、塗装されていない露出部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装の損傷部を補修塗装するか、または油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 機械は風通しの良い屋内に保管してください。
6. やむをえず屋外に保管する時は、シートを掛けてください。
7. バッテリーは本機から外し、日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

6 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。
機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態に、安心して作業が行えるようにしてください。

タイヤ、ナイフ、トワインは消耗品となっています。摩耗、折損、消耗した時は交換、補充してください。

▲ 警告

- トワイン巻付装置を調整する時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。作業クラッチ及びエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・調整中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。

▲ 注意

- 傾斜地や凹凸地又は軟弱地などで行うと本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチ及びエンジンをとめずに点検・整備すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

1 点検整備一覧表

時 間	チェック項目	処 置
新品使用1時間	全ボルト・ナットの緩み ローラチェーンの張り	増し締め 「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」に基づき調整
使用后50時間	ミッションケースのオイル	オイル交換
作 業 前 作 業 後 (又は作業前)	機械の清掃 ピックアップタイヤ切損 バインディングナイフ摩耗 トワイン消耗 各部の油もれ ボルト・ナット・ピン類のゆるみ、脱落 駆動系の異常音・異常振動 回転部・可動部の給油、注油、給脂 各調整部	交換 交換 補充 シールチェック、破損時交換 増し締め・部品の交換 「7-1 不調処置一覧表」に基づき処置 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき油脂補充 「6-2 各部の調整」に基づき調整
シーズン終了後	破損部 ミッションケースのオイル タイヤ等消耗部品 エンジン 各部の清掃 塗装損傷部 回動支点・ピン等の摩耗	補修 交換 早めの部品交換 「エンジン取扱説明書」に基づき点検・整備 塗装または油塗布 部品交換

2 各部の調整

1. ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整

ローラチェーンは、使用するにつれて少しずつ伸びが生じます。

円滑な動力の伝達をするために、ローラチェーンの張り調整を行ってください。

特に、最初の使用では初期伸びが生じますので、使用後に必ず張り調整を行ってください。

(1) テンションスプリング調整

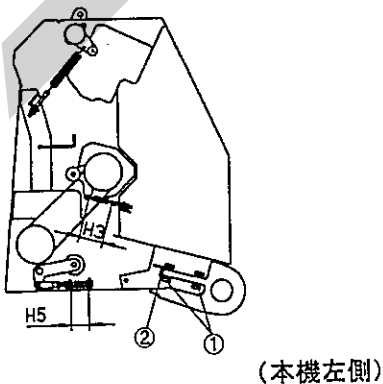
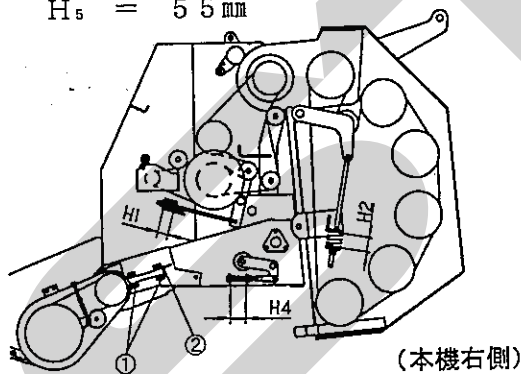
フレーム側、ゲート側ローラチェーンの張りは、テンションスプリングの長さを調整して行います。

コンベアチェーンの張りは、ボルト①4ヶ所（左右共）を緩めて、ボルト②（左右共）でコンベアチェーンを左右均等に張ってから、テンションスプリングの長さH4、H5を調整してください。

スプリング長さは、次のとおりです。

尚、テンションスプリングの調整寸法は、作業機に貼ってあるラベルの中にも表示しています。

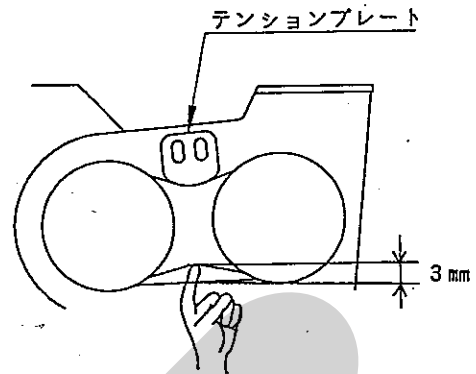
H ₁	=	38mm
H ₂	=	38mm
H ₃	=	75mm
H ₄	=	55mm
H ₅	=	55mm



(2) テンションプレート調整

フレームとゲートのつなぎ部分のローラチェーンの張りは、テンションプレートを調整して行います。

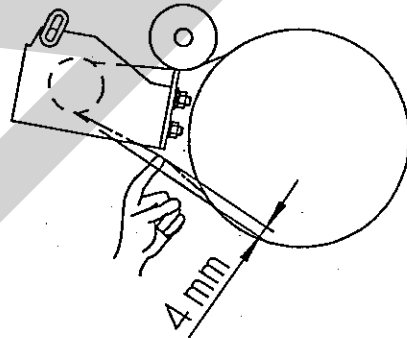
張りの強さは、ローラチェーンの中央部を指で押して、たわみ量が3mmになるのが適正です。



(3) テンションローラ調整

入力プーリからローラへの回転の伝達部のローラチェーンの張りは、テンションローラを調整して行います。

張りの強さは、ローラチェーンの中央部を指で押して、たわみが4mmになるのが適正です。

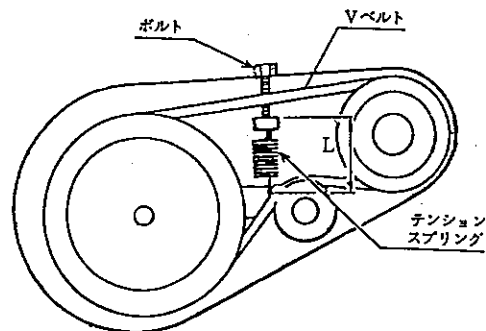


2. ピックアップのVベルトの張り調整

ピックアップのVベルトの張りは、カバーを外してテンションスプリングの長さを調整して行います。

スプリングの長さは次のとおりです。

$$L = 75 \text{ mm}$$

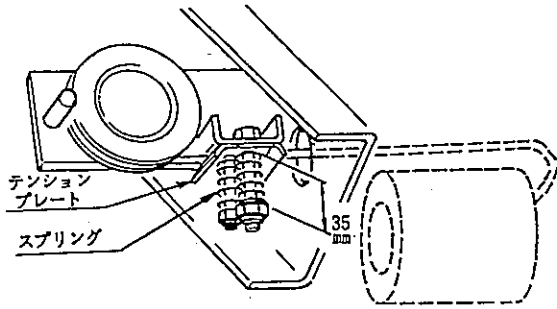


取扱い上の注意

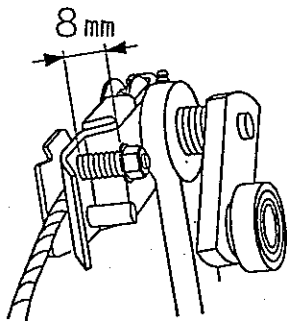
テンションスプリングを張りすぎると、過負荷がかかった場合Vベルトがスリップしなくなり、ピックアップに無理な力がかかり故障の原因となります。

指定の寸法に調整してください。

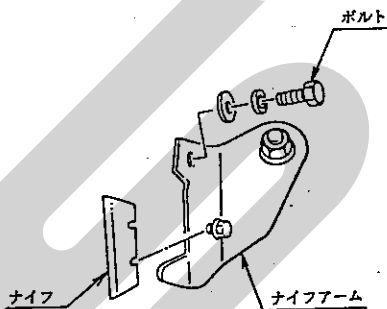
3. トウィンテンションの調整
 スプリング長さを35mmに調整してください。



4. アームテンションスプリングの調整
 スプリング長さを8mmに調整してください。



5. バインディングナイフの調整
 ナイフの切れ味が落ちてきた時は、裏返して取り付けてください。
 裏返しても切れ味が悪い時は、部品交換してください。



取扱い上の注意

ナイフは、スター純正部品を使用してください。

6. 梱包密度検出リンクの調整

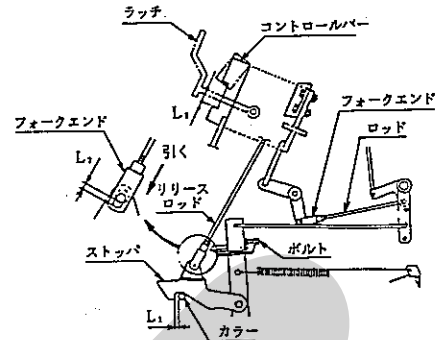
- (1) ストップとゲートのカラーのすきまをボルトで調整します。

$L_1 = 1 \sim 2 \text{ mm}$ が適正です。

- (2) リリースロッドに付いているフォークエンドのピンを外して、リリースロッドを下方に引き、フォークエンドの穴とストップの穴のズレをフォークエンドで調整します。

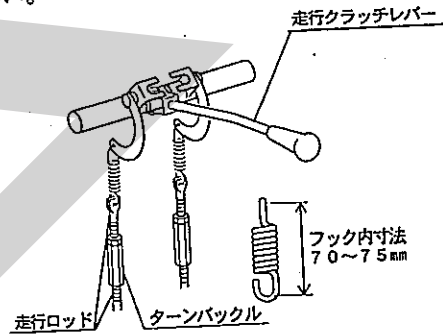
$L_2 = 2 \text{ mm}$ が適正です。

- (3) ラッチとコントロールバーのすきまをロッドに取り付けてあるフォークエンドで調整します。
 $L_3 = 0 \sim 1 \text{ mm}$ が適正です。

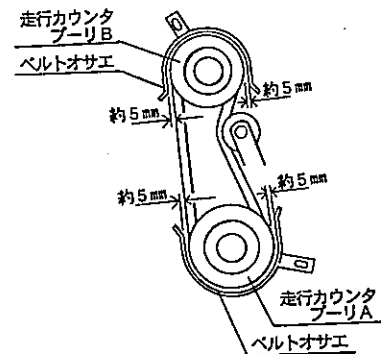


7. 走行ベルトの調整

- (1) 走行クラッチレバーを「走行入」にし、スプリングフック内寸法が70~75mmになるように、走行ロッドのターンバックルで調整してください。



- (2) ターンバックルで調整しきれない場合は、エンジン取り付けボルトをゆるめ、エンジンを移動させてください。
 (3) Vベルトに亀裂・損傷・ひび割れがある場合は、Vベルトを交換してください。
 (4) ベルト交換やベルト調整を行った後は、主クラッチレバーを「入」にし、ベルト押さえをセットしてください。

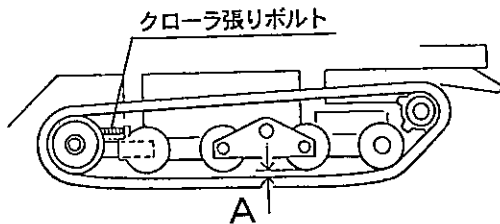


取扱い上の注意

ベルト押さえの調整を行った後は、必ず変速レバーを中立にし、走行クラッチレバーを「走行入」「走行切」にした時、ベルトが完全に停止する事を確認してください。

8. 足回りの調整

- (1) 片側をジャッキアップしてA寸法が8~10mmになるように、クローラ張りボルトで調整してください。
- (2) 中間の遊動輪とクローラのすきまに、人差し指が入る程度をクローラ張りの目安とすると便利です。遊動輪・クローラに亀裂・損傷・摩耗がある場合は、クローラを交換してください。



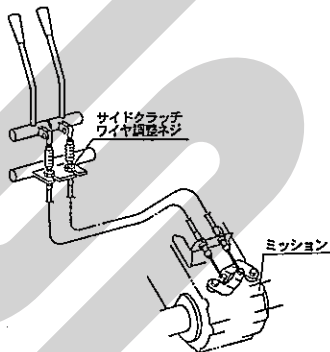
取扱い上の注意

クローラの張りが弱いと、歯飛び、脱輪の原因となり、強すぎるとクローラの切断、本機の損傷の原因となります。

グリスアップしすぎますと、遊動輪が回転しなくなりますので入れすぎに注意してください。

9. サイドクラッチレバーの調整

レバーの遊びが、レバー先端で3~5mmになるように、サイドクラッチワイヤ調整ネジで調整してください。

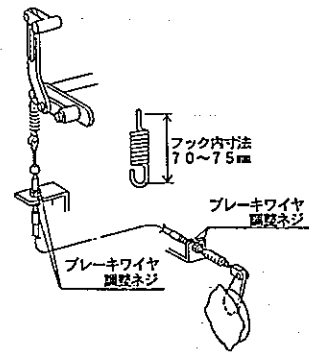


取扱い上の注意

調整を行った後は、必ずエンジンを始動させ、レバーを引いた時に本機が旋回し、離れた時に旋回を中止するか確認してください。

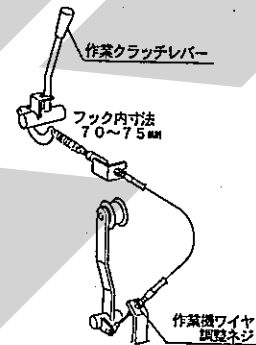
10. 駐車ブレーキの調整

- (1) 走行クラッチレバーを「駐車ブレーキ入」にし、スプリングフック内寸法が70~75mmになるように、ブレーキワイヤ調整ネジで調整してください。
- (2) スプリングのフック内寸法を70~75mmにしてもブレーキのききが甘い時は、ブレーキシューの交換をしてください。

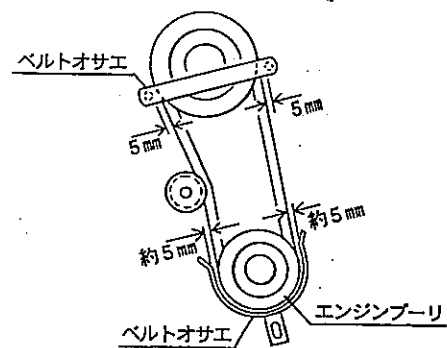


11. 作業機駆動ベルトの調整

- (1) 作業クラッチレバーを「入」にし、スプリングフック内寸法が70~75mmになるように作業機ワイヤ調整ネジで調整してください。

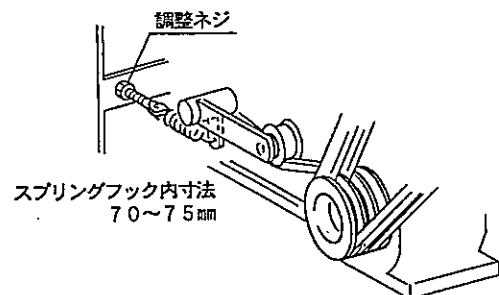


- (2) Vベルトに亀裂・損傷・ひび割れがある場合は、Vベルトを交換してください。
- (3) ベルト交換やベルト調整を行った後は、作業クラッチレバーを「入」にし、ベルト押えを調整してください。



12. カウンタベルトの調整

ベルトテンションのスプリングフック内寸法が70~75mmになるように調整ネジで調整してください。



7 不調時の対応

万一、機械の調子が悪い場合は、不調処置一覧表により処置をしてください。

▲ 警告

- トワイン巻付装置を調整する時、ローラに接触すると巻き込まれ、ケガをする事があります。作業クラッチ及びエンジンを切ってから行ってください。
- ゲートを開けての点検・調整中、不意にゲートが閉まり、挟まれてケガをする事があります。ストップバルブをロックし、ゲートを確実に固定してください。

▲ 注意

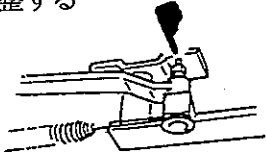
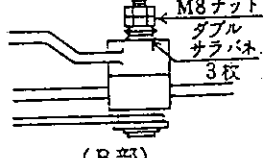
- 傾斜地や凹凸地又は軟弱地などで行うと、本機が不意に動き出して、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- 作業クラッチ及びエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
作業クラッチを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 不調処置・点検整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

原因や処置の仕方がわからない場合は下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式 (型式)
3. 製品番号
4. 故障内容 (できるだけ詳しく)

1 不調処置一覧表

	症 状	原 因	処 置
ピ ッ ク ア ッ プ 部	・異音の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・タインの切損 ・ロータフラッシュの破損 ・牧草・トワインの巻付き ・カムローラベアリングの破損 ・Vベルトの張り不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・ティン交換 ・ロータフラッシュ交換 ・巻付きを除去 ・部品交換 ・「6-2-2 ピックアップのVベルトの張り調整」に基づき調整
	・牧草を拾い残す	<ul style="list-style-type: none"> ・ピックアップタインの地上高が適正でない ・車速が速い ・タインの切損 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-2-1 ピックアップのティン地上高の調整」に基づき調整 ・車速を下げる ・ティン交換
	・牧草が詰る	<ul style="list-style-type: none"> ・エプロン、スカートを取付けている ・車速が速い ・ウインドローが大きい ・クロップカバーの調整不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-2-2 エプロン・スカートの調整」に基づき取り外す ・車速を下げる ・「4-3-1 ウインドローの作り方」に基づきウインドローを作る ・「4-2-5 クロップカバーの調整」に基づき調整
	・ピックアップが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ・Vベルトの張り不良 ・Vベルトが切れている ・ティン地上高が低すぎる ・ウインドローが大きい ・下草が長い 	<ul style="list-style-type: none"> ・「6-2-2 ピックアップのVベルトの張り調整」に基づき調整 ・Vベルトを交換する(LB-40 オルジ) ・「4-2-1 ピックアップのティン地上高の調整」に基づき調整 ・「4-3-1 ウインドローの作り方」に基づきウインドローを作る ・ピックアップの高さを上げる ・下草が残らないように刈り取る
	<ul style="list-style-type: none"> ・長ワラが拾い上げられず前に押される 	<ul style="list-style-type: none"> ①スカート・エプロンを付けている ②ピックアップの中央で拾い上げしている 	<ul style="list-style-type: none"> ①スカート・エプロンを取り外して作業する ②ピックアップの右側で拾い上げる 
ロ ー ラ 部	・異音の発生	<ul style="list-style-type: none"> ・ローラへの巻付き、詰り、泥付着 ・ローラチェーンの給油不足 ・ローラチェーンの張り不良 ・ローラがへこんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻付き、詰り、泥除去 ・ローラチェーンにグリース塗布 ・「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」に基づき調整 ・ローラ交換
	・ローラへの巻付き	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジン回転数が低い ・ピックアップ部に牧草が詰る ・ローラがへこんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-3-2 実作業の要領」に基づきエンジン回転数を最大に調整 ・不調処置一覧表の「ピックアップ部」に基づき処置 ・ローラ交換
	・ローラチェーンの発熱	<ul style="list-style-type: none"> ・梱包密度が高すぎる ・ローラチェーンの給油不足 ・ローラチェーンの張り不良 	<ul style="list-style-type: none"> ・「4-2-4 梱包密度の調整」 ・「6-2-6 梱包密度検出リンクの調整」に基づき調整 ・ローラチェーンにグリース塗布 ・「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」に基づき調整

	症 状	原 因	処 置
梱包密度検出リンク部	・作業中、ストoppが外れてゲートが開く	・ストoppが完全にかかっていない ・ブザーが鳴らないため、設定梱包密度を超えても作業している ・梱包密度検出リンクの調整寸法が狂っている	・「4-3-2 実作業の要領」に基づき作業 ・不調処置一覧表の「ブザー部」に基づき処置 ・「6-2-6 梱包密度検出リンクの調整」に基づき調整
	・梱包がゆるい	・設定梱包密度が低い ・トワイン巻数が少ない ・車速が速い	・「4-2-4 梱包密度の調整」に基づき調整 ・「4-2-3 トワイン巻数の調整」に基づき調整 ・車速を下げる
ブザー部	・ブザーが鳴らない	・コードが正規に取付られていない ・コードが断線している ・スイッチのレバーとバイディングアームの間隔が広い ・高圧洗車機等で洗車してブザー内に水がはいった	・コードを正規に取付る ・コード交換 ・スイッチ位置を調整 ・ブザー交換
バイディング部	・設定梱包密度に達してもバイディングが作動しない	・バイディング装置が正規の初期設定状態になっていない ・バイディング装置の給油不良 ・トワインテンションのスプリング調整不良 ・トワインプーリからトワインが外れている ・トワインのからまり、ひっかかりがある ・ベールの左側の密度が低い ・ラッチが外れても、バイディングアームが下がらない	・「1-2-4 トワインの通し方」に基づき調整 ・給油 ・「6-2-3 トワインテンションの調整」「6-2-4 アームテンションスプリングの調整」に基づき調整 ・「1-2-4 トワインの通し方」に基づき調整 ・トワインのからまり、ひっかかりを直す ・左側が多めになるように作業する ・給油、ダブルナットでアーム落下速度を調整する  トワインより先にアームが落下しない様にダブルナットで落下速度を調整する  (B部)
		・トワイン先端がチャンバ内に入っていない	・ひっかかりを取り除き、チャンバ内に入れる。機体の濡れている部分をふき取る
	・設定梱包密度になる前にバイディングが作動する	・バイディング装置が正規の初期設定状態になっていない ・ナイフの切れが悪く、みち糸が長くなる	・「1-2-4 トワインの通し方」に基づき調整 ・「1-2-4 トワインの通し方」に基づき、みち糸の長さを調整、ナイフを交換
	・ベールからトワインが外れる	・トワイン巻数が少ない	・「4-2-3 トワイン巻数の調整」に基づき調整
	・トワインが切れにくい	・トワインのテンションがゆるい	・テンションプレートのナイロンナットを1~2回転締める、ナイフを交換

	症 状	原 因	処 置
ゲ ー ト 開 閉 部	・ベールが排出されない	・梱包密度が高すぎる ・ウインドロー巾が広すぎる ・急傾斜地で排出しようとしている	・「4-2-4 梱包密度の調整」に基づき調整 ・「4-3-1 ウインドローの作り方」に基づきウインドローを作る ・平坦な所で排出
	・ゲートが開かない	・ストップバルブが閉じている ・油圧系統の破損・油もれ ・ロッキングフック部の調整不良 ・パワーパッケージのオイルが不足している	・ストップバルブを開く ・「2-2-1 ゲート開閉用油圧系統の点検」に基づき処置 ・「6-2-6 梱包密度検出リンクの調整」に基づき調整 ・「2-3 給油箇所一覧表」に基づきオイル補充
走 行 部	・走行しない	・ベルトのスリップ ・ベルトの損傷・切断	・「6-2-7 走行ベルトの調整」に基づきベルト張り調整 ・「6-2-7 走行ベルトの調整」に基づきベルトを交換
	・足回りよりキーキーと音がする	・遊動輪のグリース切れ	・「2-3 給油箇所一覧表」に基づきグリースアップ
	・旋回しない、又は戻りが悪い	・クローラの張りが適切でない ・クローラの損傷 ・サイドクラッチワイヤの調整が適切でない ・サイドクラッチワイヤの切断	・「6-2-8 足回りの調整」に基づきクローラ張り調整 ・「6-2-8 足回りの調整」に基づきクローラを交換 ・「6-2-9 サイドクラッチレバーの調整」に基づき調整 ・「6-2-9 サイドクラッチレバーの調整」に基づき交換
	・ブレーキのききが甘い	・ブレーキワイヤの調整が適切でない ・ブレーキシューの摩耗 ・ブレーキワイヤの切断	・「6-2-10 駐車ブレーキレバーの調整」に基づき調整 ・「6-2-10 駐車ブレーキレバーの調整」に基づき交換 ・「6-2-10 駐車ブレーキレバーの調整」に基づき交換
	・本機が停止しない	・走行ロッドの調整が適切でない	・「6-2-7 走行ベルトの調整」に基づき調整
コ ン ベ ア 部	・異音の発生	・コンベアチェーンの給油不足 ・コンベアチェーンの張り不良 ・コンベアパイプが曲がっている	・コンベアチェーンに給油 ・「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」に基づき調整 ・コンベアパイプ交換
	・コンベアチェーンの発熱	・コンベアチェーンの給油不足 ・コンベアチェーンの張り不良	・コンベアチェーンに給油 ・「6-2-1 ローラチェーン・コンベアチェーンの張り調整」に基づき調整

調整

S-010914G

本社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番35号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富営業所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見営業所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市梁2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笹賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644